



西早稲田中だより

新宿区立西早稲田中学校 03(3205)9674

10月11日（土）に二十周年記念式典が挙行されました。当日の様子をご紹介します。

〈第一部〉

- 一 開式の辞
- 二 国歌斉唱
- 三 校長式辞
- 四 来賓祝辞
- 五 記念品目録贈呈
- 六 生徒代表の言葉

〈第二部〉

- 一 応援デモンストレーション
- 二 開校時学校公開スライドショー
- 三 生徒合唱「大切なもの」
- 四 校歌斉唱
- 五 閉式の辞

校長式辞

本日は西早稲田中学校開校二十周年という節目の日を、こうして皆様とともに迎えられることを、心より嬉しく思います。まず初めに、これまで本校の歩みを支えてくださった新宿区教育委員会教育長 針谷弘志様をはじめ、歴代の校長先生方、地域の皆様、そして保護者の皆様に、深く感謝申し上げます。皆様の温かなまなざしとご支援があってこそ、私たちは今日という日を迎えることができました。さて、本校は平成十七年に戸塚第一中学校と戸山中学校の統合により開校しました。現在、西早稲田中学校があるこの地は、以前は戸塚第一中学校があり、戸山中学校の跡地は現在、中央図書館として使用されていることは、皆様ご存じのことと思います。歴史をひも解きますと、戸塚第一中学校は昭和二十二年（一九四七年）、戸山中学校は昭和三十八年（一九六三年）に開校し、それぞれの学校が六十年以上の年月を重ね、その伝統を引き継いだ上に、西早稲田中学校が存在し、二十年を迎えたこと考えると、感慨深い気持ちになります。



さて、生徒の皆さん。皆さんが生きるこれからの時代は、私たち大人が経験してきた時代とは大きく異なります。開校当初の二十年前の自分を振り返ったとき、私は中学一年生の担任をしていましたが、グラフ用紙を拡大して、マグネットで黒板に張り付けて授業をしていました。YouTubeのような映像資料も少なく、合唱コンクールの練習も一苦勞でした。それが今では、タブレットパソコンやスマホがすべて解決してくれます。すごい時代が訪れているのだと感じます。情報があふれ、変化が早く、答えが一つではない問いが増えていく社会、その中で皆さんには「自分らしく生きる力」を身に付けてほしいと思います。ウェルビーイングという言葉聞いたことがあるでしょうか。これは単なる幸せや快適さではなく、自分が自分でいい、と感じられること、人とつながっていると実感できること、そして自分の人生に意味があると思えることを含んだ深い豊かさを指します。皆さんが学校生活の中で感じる喜びや悩み、挑戦や迷いも、すべてがこのウェルビーイングにつながっています。友達と笑いあう時間、先生に相談できた安心感、部活動で味わう達成感。時にはうまくいかなくて落ち込むこともあるでしょう。でも、それらすべてが生きている実感であり、自分らしさを育てる時間なのです。先生方は、皆さん一人一人が安心して自分らしくいられる場所をつくることを、何より大切にしています。誰かと比べるのではなく、自分のペースで、自分の声を大切にしてほしいです。そして、誰かの声にも耳を傾けられる人になってください。

この記念すべき日に、校庭に一本のハナミズキを植えました。ハナミズキは、春に優しい花を咲かせ、秋には赤い実をつけます。季節の移ろいを静かに知らせてくれるその姿は、まるで皆さんの成長を見守るようです。木はすぐに大きくなりません。けれど、時間をかけて確かに育ちます。それは皆さんの成長と似ています。焦らなくていい。比べなくていい。自分の根をしっかりと貼りながら、少しずつ、自分らしい枝を伸ばしていきましょう。このハナミズキが、未来の生徒たちにとっても、憩いの場となることを願っています。そして皆さんが卒業した後も、後輩たちを見守ってくれることでしょう。

周年とは、過去を振り返るだけでなく、未来への一歩を踏み出す節目でもあります。これからの西早稲田中学校が、どんな風に進んでいくか。それは皆さんの手の中にあります。自分の好きや得意を大切にしてください。誰かとの違いを面白がってください。そして、困っている人がいたらそっと手を差し伸べられる、そんな優しさを持ち続けてください。最後になりますが、本日ご臨席いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。そして、生徒の皆さんが、これからも自分の可能性を信じ、仲間とともに歩んでいけるよう、先生方は全力で応援していきます。西早稲田中学校の益々の発展を祈念いたしまして、私の式辞といたします。

記念品目録贈呈

PTA より、20周年を記念して記念品が贈られました。

ワンタッチテント 四張
横断幕 二枚
記念樹 ハナミズキ 一本



生徒代表の言葉

現生徒会長

本日、この西早稲田中学校20周年記念式典が挙行されますことに、生徒を代表してご挨拶を申し上げます。この記念すべき節目の年に、生徒会長を務めさせていただけることをうれしく思います。

私たち西早稲田中学校の生徒の特徴は、何より学校生活への情熱の強さがあることだと思います。

例えば学校行事です。再来週行われる西早稲田祭に向けて、クラスのみんなで一致団結し、出し物である合唱の練習に励んでいます。各クラスの実行委員が、放課後まで残って準備を進めている姿もよく見かけます。ほかにも、パートリーダー・指揮者・伴奏者のクラスをまとめる動きに応えようと、誰もが一生懸命に課題に取り組むことで、本番に向かって盛り上がってきていると感じます。

私にとって、最も印象に残っているのは、去年、私が一年生として参加した入学式です。どんな学校生活が待っているのか、期待と不安が入り混じる気持ちでした。しかし、上級生の力強く心のこもった校歌に、安心を感じ、元気づけられました。二年生になった今、私も負けてはいられない、自分たちも下級生によいお手本を見せたい、このバトンをつないでいきたい、という思いで練習を重ねています。

また生徒総会では、いつも意見書にびっしりと質問や要望、意見が集まってきています。クラス討議でも、みんなが積極的に発言をし、どうすればよりよい学校になるか考える良い機会になっていました。すべての要望が通るとは限りませんが、今年度、前期生徒会は夏の熱中症対策の一環として、体育着登校の試行期間を設けるなど、大きな試みに出ました。後期の私たちの代では、成果や反省を見直し、本格的な実行に向けて動き出しています。このようにして、みんなで協力してより過ごしやすい学校をつくりあげてきました。

私たちは、今までのこの20年間の歴史のうちの一部でもあり、30年、40年先へとつなぐ役割でもあります。しかし、二十歳（はたち）というまだまだ若い西早稲田中だからこそ、新しいことに挑戦したり、学んだりしていく時期だと考えています。校歌の歌詞にもあるように、これからもみんなで力を合わせて西早稲田の新たな歴史を創っていきます。

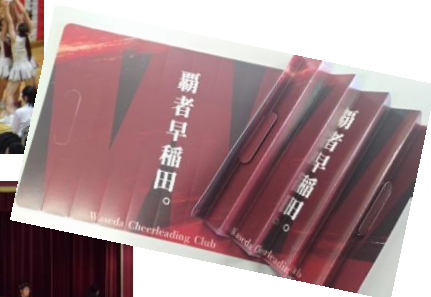
最後に、西早稲田中学校の発展を支えてくださった地域の方々や保護者の皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

記念に植樹したハナミズキとともに、これからもさらなる成長を願って、生徒代表の言葉といたします。



応援デモンストレーション

早稲田大学応援部が、西早稲田中学校のために応援デモンストレーションを行ってくれました。



開校時学校紹介スライドショー

生徒会を中心に作成したスライドで、20年前を振り返りました。

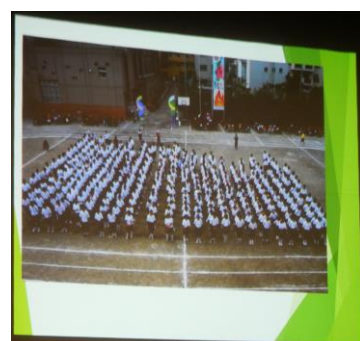
(生徒会より)

私たちの心の中には、「伝統を受け継ぐ」、「先輩たちをこえていく」という気持ちがあります。特に行事の時に、その気持ちが強くなり、全校生徒で一丸となって取り組むことができます。

先輩が手本となり、後輩へ西早稲田中学校の伝統や良さを伝えていく……。いつの時代になってもこの絆を、繋げていきたいです。

何年経っても西早稲田中学校を誇りに思えるように、西早稲田中学校での思い出を大切なものと思えるように、仲間とともに私たちは成長を続けていきます。

20周年を新たな飛躍の出発点とし、先輩方が作った土台に、更に高く、大きく積み上げ、西早稲田中学校が発展していくよう、私たち生徒一同、全力で頑張っていきます。



生徒合唱「大切なもの」

指揮 3年：Oさん

伴奏 3年：Sくん



校歌斉唱

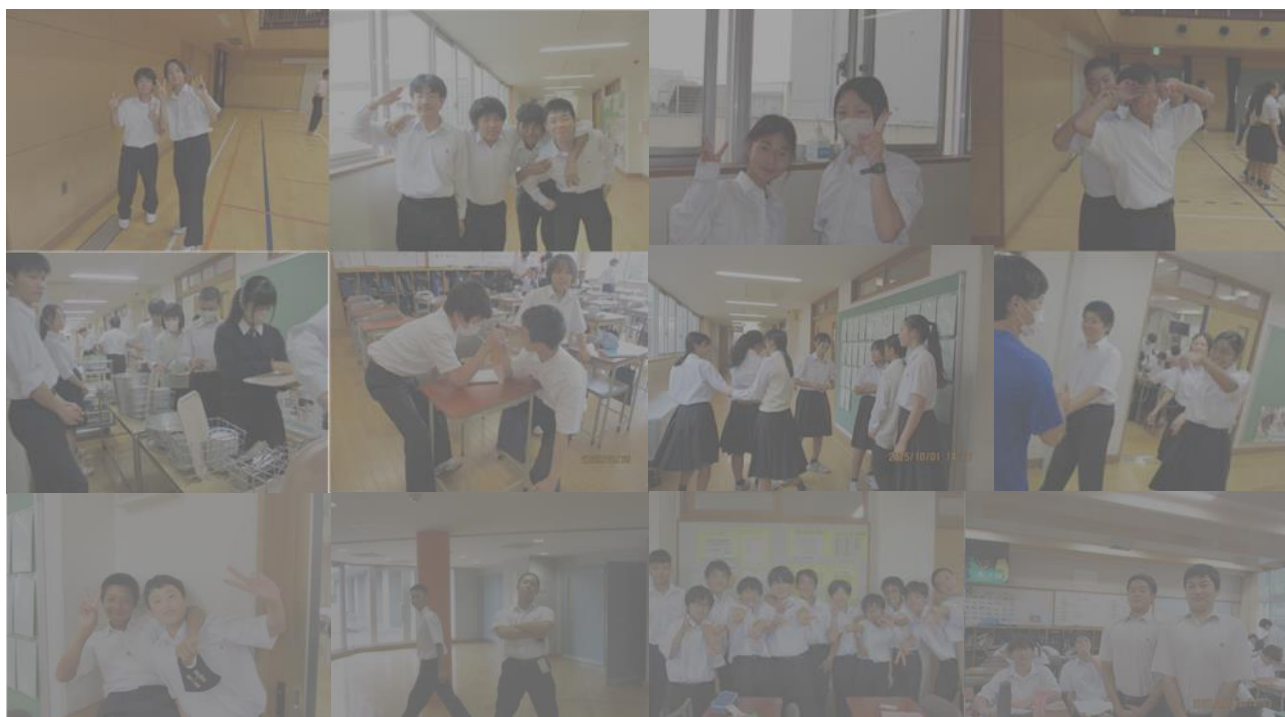
指揮 3年：Tくん

伴奏 3年：Kさん



おまけ ～生徒会企画より～

開校時学校紹介スライドショー作成にあたり、生徒会が昼休みにデジタルカメラで生徒たちの写真を撮影していました。撮影された写真を一部紹介します。



今後とも、本校の教育活動にご協力お願いいたします。